

受講  
無料

みらいを想う

DX

12/1  
2022

時間 | 13:30 ~ 16:10

デジタル化は経営ビジョンを実現するための手段です。

「10年後どのような会社になりたいですか。」  
「何のためにデジタル化に取り組みますか。」

デジタル化を積極的に推進する県内企業に、取組の内容や想い（ビジョン）を聞き、その答えを考えてみませんか。

日本DX大賞2022  
(中小規模法人部門) 大賞

13:35  
14:35

## 未来を創造するDX

～DX推進を阻む障壁をどうやって乗り越えたのか～



株式会社フジワラテクノアート  
代表取締役副社長 藤原 加奈



14:45  
15:25

## 経営ビジョン実現に向けた変革

～コロナ直後に始めたDXの変遷～



ダイヤ工業株式会社  
経営企画室 室長 崎川 健太



15:25  
16:05

## 目指すは「製造しないものづくり」

～デジタルで人をつなぐ、ヒトファーストのDX～



株式会社 福森鐵工所  
Fukumori iron works

株式会社福森鐵工所  
代表取締役社長 藤井 章貴



開催方法

### ハイブリッド開催

テクノサポート岡山 中会議室  
(岡山市北区芳賀 5301)  
オンライン (Zoom)

対象者

県内中小企業の経営者、  
管理・監督者、担当者等

定員

リアル参加 先着20名  
オンライン 定員なし

お申込みは  
QRコードから  
または裏面へ



# 第三回 デジタル化推進セミナー

## 事例紹介企業



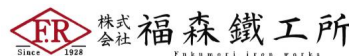
株式会社フジワラテクノアート

国内シェア80%の醸造機械メーカー。一品一品がオーダーメイドで、オンリーワンの高い技術力が評価され、世界27か国に輸出している業界のトップ企業。開発、設計、製造からメンテナンスまでを一貫して行い、厚い信頼を得ている。30年後を見据えた開発ビジョン2050「醸造を原点に、世界でく微生物インダストリーを共創」を策定。“心豊かな循環型社会への貢献”を目指す開発ビジョンのもと、醸造の他にも、食糧、飼料、エネルギー等、新たな分野へ可能性を広げるべく様々なチャレンジを行っている。「フルオーダーメイドものづくり」を高度化していくため、新たな価値創造のための手段としてDXに取り組み、3年間で業務改革や取引先を巻き込んだ受発注システムなど21個のシステム・ツールの導入と情報セキュリティ強化の体制の構築、新製品開発を実現した。その取組は、2022年の日本DX大賞（中小規模法人部門）にて大賞を受賞している。



ダイヤ工業株式会社

運動器のサポーターシステムメーカーで、日常用・スポーツ用のサポーター・コルセットの開発・製造・販売を行う。「わが社は顧客のニーズに応える医療用品の提供を通じて社会に貢献する」という経営理念を掲げ、「顧客志向」のものづくりを実践している。初めての緊急事態宣言直後にDXチームを結成、今ではルーティン業務の多くをRPAにて自動化し、お客様の笑顔と健康を支えるためのチャレンジを全社一丸となって取り組んでいる。



製鉄機械の金属加工部品製造・組立を行う。大型部品から小型部品まで精密加工を行うものづくり力が強み。主要取引先はJFEスチール株式会社で、同社が世界的にみて貢献度の高かったメーカー数社に送るExcellent Company Awardを受賞した経験も持つほど高い評価を得ている。2022年5月に吉備中央町に新工場を建設し、金属加工の量産品の製造の自動化を進める。社員は主に3次元CADによる設計に注力し、場所や時間にしばられない働き方を目指す。

### 【参加申込方法】

下記URL（QRコード）から登録または、以下の参加申込書にご記入の上、メールもしくはFAX（086-286-9627）にてお申込みください。

URL：[https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event\\_detail/index/2726.html](https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event_detail/index/2726.html)



申込期限

11月28日(月)まで

### 参加申込書

会社名		氏名	
所属		役職	
E-mail	@	TEL	
所在地	〒 -		
参加方法	<input type="checkbox"/> オンライン視聴	<input type="checkbox"/> 会場参加	
	どちらかを○で囲ってください。オンライン視聴の希望者には、事前に視聴用URLをお知らせします。		
従業員数	該当する従業員数を○で囲ってください ① 0～10人 ② 11～30人 ③ 31～50人 ④ 51～100人 ⑤ 101～200人 ⑥ 201～300人 ⑦ 301人～		
業種	該当する業種を○で囲ってください ①農業・林業・漁業 ②建設業 ③製造業 ④運輸業 ⑤卸売・小売業 ⑥飲食業 ⑦宿泊業 ⑧医療・福祉 ⑨サービス業 ⑩その他（ ）業		

※取得した個人情報は、当セミナー運営のほか、岡山県や（公財）岡山県産業振興財団等が行うアンケート調査の目的で使用する場合があります。なお、本人の許可なく、第三者に開示・提供することはありません。

### 【お問い合わせ先】



公益財団法人

岡山県産業振興財団 経営支援部 中小企業支援課

Okayama Prefecture Industrial Promotion Foundation

(担当:平松)

TEL : 086-286-9626

FAX : 086-286-9627

E-mail : [sinfo@optic.or.jp](mailto:sinfo@optic.or.jp)